



2021年4月

新年度になり、今年度はなんとか活動を再開したいと思っていた矢先に「まん延防止等重点措置」が名古屋にも発出されました。1月から2月にかけて愛知県でも緊急事態宣言が出され一度落ち着いたかに見えた感染状況も変異株などの猛威で再度感染が拡大しております。特に関東圏、関西圏では緊急事態宣言解除から時間を経ずして再度の発出になったところもあり、まだまだコロナ収束までの道のりは遠いなあと改めて感じているところです。

思い返せば、今年の4月は学校も休校になり、中学へ進学した長男も入学式に参加したきり実際に登校することもなく過ごしておりました。そんな中9月入学を進める議論などもわき起こり9月からリセットするのも悪くないのかなあとも考えておりましたが、現実にはそんなに甘くなく、9月で解決するどころか一年経過した現在も昨年より良くなったどころか、警戒感も薄れむしろ悪くなっているような状況です。頼みの綱のワクチンも中々計画通りとはいかず、中々解決の糸口が見えてきません。

そのような中、4月は川村先生の退官お祝いということで、まん延措置発出前のぎりぎりのタイミングでは有りましたが久しぶりに例会を行うことができました。

お酒を飲みながらというわけにはいきませんでした。久しぶりに皆様にお目に掛かれて安心しました。ご参加いただき本当にありがとうございました。会の中で場を盛り上げていただきました、甲斐先生、杉原先生、バイオリンや端唄でご協力いただきました義母、姪、みさ子さん、ご挨拶いただきました唐先生、石川先生にも改めてお礼申し上げます。

また、川村先生には協会へご寄付をいただきました。この場を借りてお礼申し上げます。日頃の協会へのご協力と併せて本当にありがとうございます。また、ご講演等今後とも是非ご協力お願いします。

今年度は大きなイベントを行うことは難しいかもしれませんが、今年は感染防止対策を徹底しつつ許される範囲の中で許される活動はしていきたいと考えております。

川村先生も仰っていらっしゃるかもしれませんが、今後は以前に比べれば自由になる時間も有られるとのことですので、是非先生のお力もお借りしながら、この状況を乗り切っていければと考えております。

是非今後とも皆様のご協力をお願いいたします。

上山 伸治

月例会報告

4月6日の例会は、中統奨学館4階にて食事会を行いました。

4月は定例会を開催することができました。昨年10月に川村先生のご講演で定例会を行ったのが最後でしたので、実に半年ぶりの定例会となりました。

今回は川村先生のご退官のお祝いという形での開催となりました。3月末で名古屋外国語大学をご退官され、今後は名古屋外国語大学の名誉教授、東海日中関係学会という肩書きと併せて「東アジア・日中関係研究所」代表というお立場でも我々を

ご指導いただけることになりました。特に現状中国で起こっていることを現象でとらえるのではなく、もう少し俯瞰的に背景をとらえながら中国を理解していくというお話にとっても深く共感しました。

今後の例会で是非詳しくご後援賜られればと考えております。



コロナのせいでもう 1 年近く会員の皆さんと一堂に会するチャンスがないことがとても残念。みんなどうしているかなあと顔をそれぞれ思い出しています。ニューズレターが唯一のつながりならば 一方通行の紙面でなく 会員それぞれからの近況報告の投稿で みんなの健在を知らせあいたいです。

石川 知子

我が家の長男も今月で二歳になりました。未だに意味のある発語が見られないので、発達テストを受けたり療育センターを紹介してもらったりと、落ち着かない日々を過ごしています。

彼は、小石や水があればいつまでも遊んでいられるので、天気の良い日であれば、コロナ禍でも遊ぶ場所に困りません。雨の日はどうする

かが悩ましいところです。

今季から子どもを保育園に預けることにしたのですが、始まって二週間ほどで園児にコロナ陽性者が出てしまったようで、しばらく保育園がお休みになりました。こればかりは仕方のないことなのですが、新年度早々出鼻をくじかれてしまいました。

耕

成語故事コーナー

chūlèibácuì

出類拔萃 (しゅつるいばっすい)

孟子は戦国時代の有名な思想家であり、教育者でもありました。彼は偉大な教育者だった孔子の孫である子思の下で学びました。そのため、彼は孔子をととても尊敬していました。

孟子にはとても大勢の弟子がいました。あるとき、弟子の公孫丑(こうそんちゅう)が孟子に尋ねました。

「先生、古代の伯夷(はくい)と伊尹(いいん)は、孔子にととても似ていますよね?伯夷は太古の堯舜時代の人で、堯帝が国を統治するのを

助けました。とても実績を残し、堯帝は彼に地位を譲ろうとしましたが、彼はそれを辞退しました。伊尹は素晴らしい宰相でした。殷王朝の政務を 50 年以上務め、国を統治しました。この二人は誰でも知っている立派な賢人です。」

孟子は言いました。

「確かに伯夷と伊尹は立派な賢人だ。だが、孔子には遠く及ばない。」そして孔子の弟子の話を用いました。

「聖人も百姓も人間であり、その意味では同じ分類と言える。しかし、

聖人は他の人間よりも高みに居る。麒麟と他の獣、鳳凰と他の鳥、泰山と他の丘陵、河海と小川を比べるように、前者は後者を遥かに上回っているのだ。」

日本語の漢字で書くと「出類拔萃」です。優れたものの中でも更に優れているという意味です。

調べてみると、伯夷も伊尹も偉人には違いないのですが、孔子と比較してしまうと「出類拔萃」の引き立てる側になってしまいます。やはり孔子は、偉人の中でも格が違うようですね。

漢方教室 124 日焼け止めサプリ

年齢と共に気になってくるのが、お肌のシミやシワ。若い頃は全く気にならなかったのに、今では鏡を見るたびにがっかり・・・そんな女性も多いのではないのでしょうか。そんなあなたにピッタリなのが、飲むだけでシミやシワ、そばかすなどの肌の黒ずみの原因を改善できる美白サプリです。敏感肌で美白化粧品は使えないという女性にも、インナーケアで白く美しい肌を目指す美白サプリは最適です。

【燕の巣】

ツバメの巣には E.G.F.や F.G.F.と似た作用があるため、皮膚の細胞の生まれ変わりを助けることによ

て、肌を若々しく保つ効果があるといわれています。通常では、肌の細胞は28日間で生まれ変わるといわれていますが、年齢とともにターンオーバーのサイクルが乱れやすくなり、その結果、しわやたるみなどの老化現象が引き起こされてしまいます。E.G.F.と似た作用を持つツバメの巣には、新しい細胞の生産を促進することによって、肌の老化を予防する効果があります。

【ヒアルロン酸】

皮膚に多く含まれている成分で、コラーゲンと同じように保湿力に優



れています。ヒアルロン酸が不足すると、肌の保湿性や弾力性、潤いが失われてしまいます。ヒアルロン酸は年齢とともに減少していきます。食事で効果的に補おうとしても、普段の食事に使われる食材にはほとんど含まれていない成分です。

日本安恵のビューティーホワイトは、燕の巣をはじめ、ヒアルロン酸やコエンザイムQ10を配合した美白サプリです。



興味のある方は、TEL 052-242-3930 まで。中統ビル3階 日本安恵株式会社

中国からの引き揚げ—思い出すがまに④⑦

1年生の2学期になって、ようやく試合をさせてもらえるようになりました。対外試合はまださせてもらえず、部員同士の練習試合でした。上級生には全く歯がたたず、悔しい思いで上級生の胸を借りる練習を続けていました。

3学期になって、上級生との立ち合いで、たまに1本取れるようになりました。こうなると練習にも熱が入り、ただやみくもに打ち込むのではなく、対戦相手の癖や性格などを頭に入れて、対応方法を考えるようになりました。

先生の指導法は、相手から1本を取るためには、技の研究だけでなく、相手を日ごろの練習でよく観察し、性格、癖、弱点などを頭に入れておくことの大切さを常に口にしておられました。

内輪の練習の中で、そうしたことをしっかり身に付け、試合に臨むように言われてきました。日ごろいいかげんな練習しかしてこなかった私にとっては、大きな刺激となりました。

また、文武両立を目標に練習に励むように言われ、及第点が取れない科目があると部活の出入りを禁止させられました。

厳しい所のある先生でしたが、困ったことがあると親身になって相談にのってくれる心の熱い先生でした。

杉本 克治

新コーナー お便り

先月の趙姣姣さんの投稿について、会員さんからさっそくお便りを頂いたので、こちらで紹介したいと思います。

「湯を沸かすほどの熱い愛」を見た人は名作だと言っています。私は内容を知らないので遺体を焼いて沸かしたお湯に浸かるという場面だけを想像するとショックでした。

黒澤明監督の「生きる」という映画（1952年）もがん死と向き合った生き方を描いた往年の名作です。

過去の震災などの際 悲惨な状態でも日本人は諦めがよくて くよくよしないで立ち上がると海外から評価されました。

しかし「楽観的な態度でたくましく生きること」が一般的な日本的な考え方とは一概に言いきれないように思います。

趙さんの文を読んで 私もこの映画を観ました。私は主人公の生き方というより、「血縁のない家族」の愛の在り方、人間同士の絆の力ということで考えさせられました。

日本の映画をすすんで観てくださってるんだなあとうれしく思いました。

趙姣姣さん、ありがとうございます。これからも日本語の勉強頑張ってください。

まだまだ続きます。今月のお話は趙予涵さんです。どうぞ！

襟裳岬 趙予涵

はじめて『襟裳岬』という歌を聞いたときに、冒頭の歌詞にひっかかりました。「悲しみを暖炉で、燃やしはじめてるらしい」。なぜ冬が悲しいだろうか、何を歌おうとしているだろうかと思いました。ところが何回か聞いているうちに、寒さの中の暖かいものが感じられました。「寒い友だちが 訪ねてきたよ。遠慮は要らないから 暖まってゆきなよ」というのが寒さに苦しんだ人が互いに暖め合っているということでしょうか。この歌は実に優しく、希望が見えるものだと思います。

少し前に知り合った彼氏と別れました。とても大切にしていた人だったので、苦しかったです。悪い夢ばかり見ていました。家族に心配を掛けたくないため、相談するのを我慢していました。つらい気持ちを口に出せず、悲しい思いをしていました。その時、友達が

声をかけてくれました。その友達もいろいろと経験しているので、一緒に図書館に行って、一緒に運動場にジョギングに行くようになり、助けられました。「遠慮は要らないから 暖まってゆきなよ」、自分の気持ちを理解できる友達がいたおかげで、冷え込んだ心の傷を温めてくれました。

この歌の魅力が分かるような気がします。誰でも経験するつらい経験と、助けてくれる友情の二つにポイントがあるのだと思います。

今回の寄稿は、趙予涵さんでした。感想や質問、趙予涵さんへの励ましのメッセージなど、どんどんお寄せください。日本語を学んでいる外国の若者たちを応援しましょう！

お知らせ

★5月例会

3月例会は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となりました。

★JCCA 中国語サロン

日時：5月1日（土）15日（土）14：30～

★日本語広場

5月の日本語広場はお休みです。

★6月例会

未定

*5月のニューズレターにてお知らせいたします。

上山学院の様子

4月16日（金）に少ない人数ではありますが、入学式を行うことができました。昨年入国した学生達と併せてレベル別に4クラスと、海外で準備している待機組がいます。

また現在の学生の国籍は、中国、ネパール、パキスタン、スリランカ、ウズベキスタン、ミャンマー、カナダ、オーストラリア、ボリビア、フィリピン、ベトナム、トルコの12カ国と、学生数は少ないながら、多国籍化に奔走しています。

今年度も入国状況次第になりますが、厳しい状況の中、来日してくれた学生達をできる限りサポートしていけたらと思います。



第16回桜二胡音楽会

4月4日（日）に、毎年恒例のチャン・ビンさんの桜二胡のコンサートが、今年は名古屋市公会堂で開催されました。日本の桜と中国の二胡をコラボレーションしたこの音楽会は、2006年から鑑賞無料で開催されていて、今年も総領事をはじめ名古屋市の関係者も多数参加され日中交流の代表となる恒例イベントになっています。

しかし最近ではコロナの関係でいつもの徳川園が使用できなかつたり、厳しい感染防止対策の条件での開催だったと思いますが、何とかこのイベントを継続したいというチャン・ビンさんをはじめスタッフの方々の日中交流にける並々ならぬ思いをより感じる音楽会でした。

そんな条件の中、室内ということで、各演奏の舞台照明やプロジェクターを使って南京から届いた南京市人民対外友好協会の方のメッセージや芸術団の映像を観たり、屋外ではできない技術もあり新鮮な内容でした。

また来年こそはコロナが去り、スッキリとした青空の下、徳川園で開催できることを心から願います。



編集局

編集局では現在、携帯電話番号、生年月日、E-Mail アドレスのご登録を推奨しています。イベントのご案内、「誕生日の人の言葉」の掲載、WEB サイト更新の通知などに使用致します。china@chuto.co.jp 宛にご送付ください。ニューズレターは、WEB サイトにてカラー版を公開しています。郵送不要の方は「郵送不要」とご連絡ください。



〒460-0008 名古屋市中区栄 4-16-29 中統奨学館
TEL：052-262-1410 FAX：052-262-5036
一般社団法人日中文化協会 編集長 上山耕治